(様式2)その1

平成14年度入学料免除事由別実施状況

入一報ーC

担当者名		
連絡先	TEL ー( )ー	(内線：)
	FAX ー( )ー	

学校コード	1		
		学校名	

学種			免除の事由											
			A(経済的事由かつ学業優秀)		B(学資負担者の死亡)		C(風水害等の災害)		D(B、Cに準ずる場合)		E(徴収を猶予された者の死亡)		F(未納による除籍)	
			免除者数	免除実施額	免除者数	免除実施額	免除者数	免除実施額	免除者数	免除実施額	免除者数	免除実施額	免除者数	免除実施額
		(B)	(01)	(02)	(03)	(04)	(05)	(06)	(07)	(08)	(11)	(12)	(13)	(14)
		5	9	14	25	30	41	46	57	62	73	78	89	94
大学院の研究科		0200												
大学の専攻科	特殊教育	0301												
	その他	0399												
大学の別科	養護教諭	0401	0	0										
	その他	0499	0	0										
学部	昼間	0101	0	0										
	夜間	0102	0	0										
短期大学		0601	0	0										
高等専門学校		0701	0	0										
盲・聾・養護学校	高等部	0901	0	0										
	幼稚部	0902	0	0										
理療科教員養成施設		0501	0	0										
高等学校		0801	0	0										
専修学校 各種学校	看護学校	1101	0	0										
	診療放射線部	1102	0	0										
	臨床検査技師学校	1103	0	0										
	歯科衛生士学校	1104	0	0										
	歯科技工士学校	1105	0	0										
	助産婦学校	1106	0	0										
	保健婦学校	1107	0	0										

((様式2)その1　記入要領)　　入一報一C

1　「学校コード」欄は、(別添)「学校コード一覧」によるコードを記入すること。

2　「免除の事由」の欄におけるA～Fは次の事由区分によるものとする。

A：経済的理由によって納付困難であり、かつ、学業優秀と認められた場合

B：学資負担者の死亡により納付が著しく困難であると認められた場合

C：風水害等の災害を受け納付が著しく困難であると認められた場合

D：B、Cに準ずる場合であって、学長が相当と認めた事由により納付が著しく困難であると認められた場合

E：入学料の徴収を猶予された者の死亡による場合

F：入学料の未納を事由として学籍を有しないこととした場合

3　「免除の事由」のC欄に該当するものがある場合は、(様式2)その2を作成すること。

4　学部等については事由A欄による免除はないので、誤記入のないようにすること。

5　数字は、各欄ともカンマ「,」は記入せず、右詰とする。また、該当のない欄は空白にしておくこと。ただし、フロッピーディスクへ入力する際は、該当する学種の欄中に空白は作らず、0(ゼロ)を入力して必ずその学種の行を数字で連続させること。

6　該当のない学種については、「学種」欄を一線で消すこと。

例

~~大学院~~	~~修士~~	~~1~~	~~1~~	~~0~~	~~2~~	~~0~~	~~1~~							

7　本票の作成に当たっては、様式をコピーして作成のうえ提出すること。(A4横長)